

平成31年2月28日

請願・陳情文書表

建設・企業常任委員会

県土整備局関係請願

請願番号	99	受理年月日	31.2.22
件名	JR東海道線村岡新駅建設中止についての請願		
請願者		紹介議員	
<p>※請願者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。</p>		<p>井坂新哉 加藤なを子 大山奈々子 君嶋ちか子 木佐木忠晶</p>	
<p>1 請願理由</p> <p>2019年1月18日、神奈川県知事、藤沢市長、鎌倉市長はJR東日本に対し、「東海道本線の新駅設置に関する要望書」を提出しました。</p> <p>地価が上がる、経済効果があると知事は開発効果をあげていますが市民の生活はどうでしょうか。</p> <p>藤沢駅から大船駅までは4.6キロ、4分の運転時間です。駅舎の建設だけで160億円かかり、県が3割、藤沢と鎌倉が残りを負担する計画です。福祉、医療、教育などもっと急がれる税金の使い方があると思います。</p> <p>さらに、企業誘致や鎌倉市役所関係施設の設置など大規模な開発計画となります。企業は何時までいるのでしょうか。県が誘致した武田薬品研究施設は職員が大幅に減らされ事業内容も変わってしまっています。</p> <p>私たち地域の住民は、介護施設の設置や障がい児学校の新設などを継続して要望しています。</p> <p>JR東海道線新駅建設を中心とした村岡地区の拙速な開発計画は中止して下さい。そして、住民の要望をいれた地域づくりを進めるよう要望します。</p> <p>2 請願項目</p> <p>① 藤沢、鎌倉両市の住民をはじめ県民の合意のないままJR新駅設置計画を推進しないこと</p> <p>② 駅舎の建設だけで160億円する「村岡新駅」設置を核とした地域開発計画は抜本的に見直し、福祉施設など地域住民の求める用地として住民参加で計画づくりを行うこと。</p>			

県土整備局関係陳情

平成31年2月27日

神奈川県議会議長 殿

陳情者

※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、
削除しています。

陳情書の取下げについて

去る平成30年12月6日提出いたしました次の陳情書は、都合により取り下げたいので、よろしくお願ひします。

陳情番号 第188号

件 名 建築業者の違法行為の確認方法や許認可取消などについての陳情

陳情番号	188	付議年月日	30.12.6
件名	建築業者の違法行為の確認方法や許認可取消などについての陳情		
付議委員会	陳情者		
建設・企業常任委員会	※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。		
<p>1 陳情の要旨</p> <p>県の許認可を得て事業を行う事業者が、違法行為を行っているか適切に把握し迅速にかつ強力に指導等できるような制度の構築を求めます。</p> <p>また建築知識の無い市民に対し虚偽の説明をした事実が確認できた場合も厳しい措置が取れるよう制度構築して頂きたい。</p> <p>2 陳情の理由</p> <p>宅地建物取引業 神奈川県知事(3)第2****号 建設業許可番号 神奈川県知事許可 第07****号</p> <p>上記のような許可業者が川崎市内で工事を行う場合、建築基準法等の許認可などほとんどが川崎市の権限である。こうした業者が個別に行う工事で違法行為が多数発見されても市の部局が個別に指導するだけです。</p> <p>多数の違法行為を行う業者には許認可の取消、次回の更新停止などの措置を取って頂きたいが、そうした情報のほとんどを川崎市だけで把握しており、県には情報が上がってこないのが実情である。県で確認した違法行為などが川崎市の担当部局に通知されたり、市で確認した違法行為の情報が県に通知されるなど情報共有の制度を構築して頂きたい。</p> <p>業者が多数の違法行為を行っていても県は一切把握できず調査権限も無く、市と情報を共有する事も出来ない。これではどのように違法行為を把握できるのでしょうか。またそうした情報の積み重ねで、要注意業者など注視する事業者の洗い出しが出来、その先に許認可取消や更新停止等の措置が有ると考えます。</p> <p>基礎杭の施工データ一流用が有り建物が傾斜した、横浜市都筑区のマンションのような被害者が700世帯にも及ぶ大規模な事例は極めて少数で、多くの工事が小規模で被害者も少数であると考えます。違法行為を行う業者に対し、県と市が強く連携し対処できるようルールや制度等を整備して欲しい。</p> <p>なお、これらの事実は市の記録など客観的な証拠に基づいて記載しています。</p>			

陳情番号	195	付議年月日	31.2.13
件名	県営住宅の申込資格についての陳情		
付議委員会	陳情者		
建設・企業常任委員会	※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、 削除しています。		
<p>1 陳情の要旨</p> <p>神奈川県県営住宅の申込資格では、両親のうち片方だけと子が同居する申込はできません。離婚していないが、15年以上別居しており、婚姻関係が破綻している夫婦の片方と子が同居する申込ができるように申込資格を緩和してください。</p> <p>2 陳情の理由</p> <p>実質的には婚姻関係が破綻しているが、何らかの事情で離婚の手続きができない夫婦もいます。例えば配偶者の一方がDV被害を受けており、離婚手続きが困難な場合があります。現在の申込資格ではDV被害者に対する特別措置はありますが、シェルターでの一時保護や裁判所からの接近禁止命令などを受けていることが条件です。その条件では暴力的DVを受けている配偶者は申込できる可能性があります、精神的DVを受けている配偶者は不可能です。そのため、精神的DV被害者でも申込できるよう資格の緩和を求めます。</p>			

陳情番号	199	付議年月日	31.2.22
件名	橋本駅南口開発にあたっては、歴史ある相原高校の知恵と記憶を活かした街づくりをしてくださるよう県へ働きかけを求める陳情		
付議委員会	陳情者		
建設・企業常任委員会	※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。		
<p>【陳情項目】 土地区画整理事業での開発が予定されている橋本駅南口県立相原高校の跡地利用について、随所に相原高校の記憶と知恵を感じられる街づくりをしてくださるよう、地権者である県に働きかけていただきたく陳情します。</p> <p>【陳情趣旨】 日本人の苗字を見ると、植物・動物・地形・生活が入ったものが多いことに驚かされます。議長「氏」は「桐生さん」ですね。一方、氏名の「名」は親や身近な人たちから生まれてきた子への思いが詰まっています。議長は「秀昭さん」。名は体を表すと言われるように、日本人の心技体のありようが名前からも伺えます。 2018年度をもって移転する県立相原高校は、1923年の開校以来、橋本の地で日本人の心技体を育んできました。その学び舎には、橋本に学校を創りたいと切望し、土地やお金を寄付した当時の住民の熱意が集結しています。</p> <p>96年の歴史の中で、多くの優秀な人材を輩出し、現相模原市長も同校出身の一人です。10年ほど前までは、市職員の要職の多くは相原高校出身者だったそうです。30年前、校長先生をされていた方のお話によれば、相模原市の園芸業者はほぼ同校出身だとか。生徒たち一人ひとりがゆとりある空間、校風によって大切に大切に育てられて来た賜物でしょう。</p> <p>地域の住民もまた、相原高校とともに生き、多くの恩恵を受け、成長してきました。その連続性と歴史をそのままに、相原高校スピリッツを活かした街づくりはできないものではないでしょうか。もちろんリニア中央新幹線の工事をする中では、すべてを残すことは無理でしょう。しかし、その中にあっても、随所に相原高校の記憶と知恵を感じられる街、それを意識して考えていけば、日本中にも類を見ない思想と斬新さとを併せ持った街を整備できるのではないのでしょうか。</p> <p>2011年3月11日に起きた東日本大震災は大変不幸な出来事でした。これは個人的なことですが、その中で唯一よかったことがあります。それは、停電が続く中で、寒さ暗さに耐えながらも、工夫をし、五感を磨いて生きていく姿勢を思い出したことです。続く夏には、出来るだけ電気を使わないで済むように、北と南の窓を開け、すだれをかけ、手拭いを濡らして首に巻きました。私が生まれ育った昭和の慎ましく美しい所作です。</p> <p>橋本駅南口の街づくりを考える上でも、そうした心技体で発想できないのでしょうか。私たちの会では来たる3月10日、16日と相原高校散策会を催します。可能ならば、その折に卒業生、住民、市民、県知事、市長、市と県の職員、市と県の議員、OBの園芸業者、現役の先生、生徒さんたちが相原高校と思い思いに遊びながら考える。</p>			

次に専門家も入って開発計画を具体化していきながら、少しだけ時間をかけて、橋本の地にある相原高校にお別れをしていく。畑の土、木の一本いっぽんを愛おしむ。農業をしてきた高校だけに、想像の翼を広げてすべてをいただき、血となし肉とする。できれば、住民・市民、OBの園芸業者が一緒になって、何を残して何を失くすのか決め、宮大工よろしく自らの手で丁寧に片付ける。そうした作業はリニア駅工事を担うJR東海には難しいことではないでしょうか。そうして、慈しみを持って96年の歴史を終わらせることができれば、次の100年先の評価に耐え得る街を創出できるように思います。

駅前なのにさまざまな鳥が舞い、セミが鳴き、たくさんのカマキリがいるような公園や市民農園はいかがでしょう。一旦、3千坪の敷地を更地にしてしまつては、魅力がなくなってしまう。96年の時と一緒に生きてきた正門脇のクスノキ、ヒマラヤスギ、これらの大木をできるだけ生かしていく。実からシャボンの成分や羽根つきの玉が取れるムクロジ、手紙の木と言われるタラヨウ、イチョウ並木やメタセコイア、言い始めたら切りがないですね。急激に温暖化が進み行く今、100年先を見据えた街づくりが求められているのではないのでしょうか。

どうか賢明な神奈川県議会議員の皆様におかれましては、もう少しだけ時間をかけて、どこにでもある個性のない駅前開発ではなく、魅力的でワクワクする街、しかもできるだけお金をかけずに経済効果の上がる計画にしていくよう、地権者である県に働きかけていただきたく陳情します。

陳情番号	200	付議年月日	31.2.22
件名	相原高校の保存樹クスノキと同校の緑地を保存し、橋本の緑と安心を守ることを求める陳情		
付議委員会	陳情者		
建設・企業常任委員会	※陳情者の個人情報については、個人情報保護のため、削除しています。		
〔陳情項目〕			
<p>相原高校の保存樹クスノキを残し、同校の緑地を保全し、橋本駅前の防災拠点（広域避難場所・帰宅困難者対策等）として、市民の安全安心を守るために移転跡地を整備することを地権者であり、県立高校の所有者である神奈川県に働きかけるよう陳情します。</p>			
〔陳情趣旨〕			
<p>相原高校の開校記念に植樹されたシンボルツリー・樹齢100歳(100年)のクスノキは、市の保存樹木に指定されていますが、2019年4月に高校が移転すると、リニア駅建設と南口開発のために伐られてしまいます。校内にある1000本150種類の木々もほぼ全部伐られ、肥沃な畑も庭園もなくなろうとしています。シンボルツリー・クスノキを残し、そこに相原高校の足跡を刻むレリーフを建てることを相模原市と協議して実現するように神奈川県に働きかけてください。</p> <p>移転に伴い相原高校は広域避難場所でなくなって、跡地は壁で遮断された工事ヤードの状態が10年続き、工事後もコンクリートと高層ビルの街と化すのではと懸念されます。市は代わりに小中学校を広域避難場所に指定し、避難所・一時避難場所と兼ねさせる計画ですが不安です。東日本大震災のとき800人の帰宅困難者を受け入れ、高層マンションからの避難者も滞在した相原高校は、重要な駅前防災拠点です。橋本地区の緑被率はわずか9.7%と旧市内で最低で、高校がなくなればさらに下がり、災害被害の規模拡大を招きかねません。</p> <p>相原高校は地域住民が土地とお金を寄付して関東大震災の年につくられました。防風防砂林を植え、農業と緑の恵みを大切にされた当時の人々の思いに学び、後世に渡って守り続けていくべき橋本の宝であり、誇りです。神奈川県と相模原市は緑豊かな環境と住民の安心安全を第一に考えて相原高校移転跡地を整備すべきです。そのために、県議会におかれましては、地権者であり、県立高校の所有者である県に対して最大限の働きかけをしていただきますようお願い申し上げます。</p>			